

表2 学習・教育目標の達成度評価対象とその評価方法および評価基準

学習・教育目標		達成度評価対象	各対象の評価方法と評価基準	総合評価方法及び評価基準
(A) 地球的視点に立って、多面的に思考し行動できる能力	(A-1) 多面的に思考し行動できる能力	全学共通科目 ・総合教育科目A ・総合教育科目B ・健康・スポーツ科学科目	全学共通科目の総合教育科目A,Bの科目群から24単位(このうち健康・スポーツ科学科目の講義科目を2単位まで充当できる),および健康・スポーツ科学科目(実習)の科目群から2単位を取得すること。地域志向系科目1科目2単位を含むこと。各科目の単位取得条件はシラバスに記載の通り。	左記のすべてを満足すること。
	(A-2) 国際的なコミュニケーション能力	全学共通科目・外国語科目 ・英語 ・新修外国語(独語・仏語・露語)	英語CE I・CE II・CE III・CE IV・CE V・CE VI の6単位,新修外国語(独語・仏語・露語から1か国語を選択)の4単位,英語・新修外国語(独語・仏語・中国語・露語・朝鮮語)のなかから選択して2単位の合計12単位を取得すること。各科目の単位取得条件はシラバスに記載の通り。	
(B) 基礎的な数理学の修得とその応用能力		全学共通科目・基礎教育科目 ・数学部門 ・物理学部門 ・化学部門 ・生物学部門 ・地球学部門 ●一般地球学A-I・A-II ●地球学実験A・B	基礎教育科目(講義・実験)の科目群から合計27単位を取得すること。ただし,一般地球学A-I・A-II,地球学実験A・Bは必修科目である。また,地球学部門を除く3部門以上を履修し,取得単位のなかに数学部門の科目4単位以上,地球学実験A・Bを除く実験科目7単位以上を含めること。各科目の単位取得条件はシラバスに記載の通り。	左記の条件を満足すること。
(C) 地球学専門分野の幅広い基礎的知識・技術とその応用能力	(C-1) 地球探求の意義と責任の自覚	●地球学概論 I ●地球学概論 II ●地球科学技術者特論	必修科目である地球学概論 I・II(合計4単位)と地球科学技術者特論(2単位)を取得すること。  各科目の単位取得条件はシラバスに記載の通り。	左記の条件をすべて満足すること。ただし,卒業に必要な専門科目の単位として,学習・教育目標(C)と(D)に関連する科目をあわせて71単位(このなかに他学科提供専門教育科目8単位,および生物学科提供の推奨科目を含めてもよい)を取得することが目標達成の条件となる。
	(C-2) 地球学分野に関する幅広い基礎的知識と技術	●地球物質学 I ●地球物質学 I 実習 ●岩石学 I ●岩石学 I 実習 ●積成地質学 ●積成地質学実習 ●古生物科学 ●地球ダイナミクス ●地球情報基礎論 ●地球情報基礎論実習 ●地質力学 ●地質力学実習 ほか	地球物質,岩石,地層・化石,地球史,地球情報,都市地盤の各関連科目群の基礎的な専門科目である左記の必修科目の単位を取得すること。  各科目の単位取得条件はシラバスに記載の通り。	
	(C-3) 地球学分野の英語能力	●地球学演習 I ●地球学演習 II ●地球学演習 III	必修科目の地球学演習 I・II・IIIの単位(合計6単位)を取得すること。 各科目の単位取得条件はシラバスに記載の通り。	
(D) 地球学の基礎的知識・技術を野外調査に活用する能力		●地形地質投影法 ●測量及び測地学 ●地質調査法 I ●地質調査法 I 実習 ●地質調査法 II ●測量及び地質調査法 II 実習 ●地球学野外実習 A ほか	野外調査関連科目群のうち,必修科目の地形地質投影法,地質調査法 I,地質調査法 I 実習,地質調査法 II,測量及び地質調査法 II 実習,地球学野外実習 A,測量及び測地学の単位を取得すること。地形地質投影法,地球学野外実習 B,地質調査法 III,測量及び地質調査法 III 実習,地質調査法 IV,測量及び地質調査法 IV 実習を修得していることが望ましい。 各科目の単位取得条件はシラバスに記載の通り。	左記の条件を満足すること。ただし,卒業に必要な専門科目の単位として,学習・教育目標(C)と(D)に関連する科目をあわせて71単位(他学科提供専門教育科目8単位,および生物学科提供の推奨科目を含めてもよい)を取得することが目標達成の条件となる。
(E) 自立した技術者・研究者としての問題解決能力と創造力		●特別研究	特別研究の単位は成績判定会(教員全員)において,調査・研究の達成度,卒業論文における論理的な記述力,卒論発表におけるコミュニケーション能力等を基準にした合・否判定による。	左記の判定に合格すること。